大野城市一般廃棄物処理基本計画【概要版】

● **体系**
 一般廃棄物処理基本計画・・・ごみ処理基本計画、生活排水処理基本計画
 (計画期間 令和3～12年度)

● **現状と課題**

1. **ごみ量の推移**
 ごみ排出量は、近年やや増加傾向にあります。
2. **最終処分場の状況**
 可燃ごみの最終処分場は令和22年度、不燃ごみの最終処分場は令和5年度までの使用期限(予定)となっています。
3. **ごみ処理費用**
 ごみ処理やリサイクルは多額の費用がかかることから、ごみ袋の有料化等で処理費用の一部に充当していますが、全てを賄うことができないため、費用負担を抑制するためにごみの減量は欠かせません。

● **基本理念**
 みんなで意識・行動して目指す循環型のまち～次につなぐ Onojo Ring～
 2R (リデュース・リユース) や分別・リサイクル、ごみの適正処理の施策を推進し
 持続可能な循環型のまちを目指します。

● **前回計画の振り返り (令和2年度)**

	予測値	目標値	実績	結果
ごみ排出量	27,516 t	26,140 t (5%減)	28,180 t	未達成
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量	538.80 g	511.38 g (5%減)	541.22 g	未達成
リサイクル率	17.7%	19.0%以上	19.4%	達成
最終処分量	2,823 t	2,972 t (5%減)	3,083 t	未達成

● **目標**

	中間目標：令和7年度		最終目標：令和12年度	
	予測値	目標	予測値	目標
ごみ排出量	28,545t	28,117t (1.5%減)	28,708t	27,847t (3.0%減)
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量	539.20g	531.11g (1.5%減)	537.95 g	521.81 g (3.0%減)
1日当たりの 事業系ごみ排出量	23.306t	22.956t (1.5%減)	23.821t	23.106t (3.0%減)
リサイクル率	18.9%	19.0%以上	18.6%	19.0%以上

● **ごみ処理基本計画 (基本方針・具体施策)**

1. 循環型社会の形成
【ごみ減量 重点施策】
 - ①家庭から出る「生ごみ」の減量
 - ◇エコ・クッキングを講習会等で普及拡大→食品ロス削減の徹底
 - ◇生ごみ処理機、ダンボールコンポスト等の普及拡大、補助制度の周知
 - ※「もったいない」意識の相乗的な醸成
 - ②家庭から出る「紙ごみ」の減量・リサイクル
 - ◇「雑がみ」分別の効果的な啓発
 - ◇集団回収活動を行う団体に対する奨励金交付の継続
 - ◇共同住宅(分譲マンション等)における集団回収団体登録の促進
 - ③事業所から出るごみの減量
 - ◇市内およそ100箇所の多量排出事業所のごみの減量の推進
 - ◇学校給食、スーパーなどから出るごみの調査・減量指導の徹底
- 【その他 施策】
 - ◇分別排出の徹底
 - ◇プラスチックごみの発生抑制
 - ◇みどりのリサイクルの推進
2. 環境教育の推進と情報共有・普及啓発
◇出前講座の充実 (重点施策)
 - ◇環境教育用教材の普及
 - ◇市HP・市SNSの充実
 - ◇処理施設見学会の情報発信
 - ◇広報紙・パンフレットの充実
3. 安定的かつ適正なごみ処理
 - ◇効率的な収集・運搬体制の維持・確立
 - ◇中間処理
 - ◇最終処分
 - ◇非常時の収集運搬体制
4. 適正処理への体制整備
 - ◇不法投棄の防止
 - ◇感染性廃棄物の処理
 - ◇不適正処理の防止
 - ◇災害廃棄物対策の検討

● **生活排水処理計画 (基本方針)**

1. 公共下水道への接続の促進
2. 生活排水処理率(水洗化率)の向上

● **し尿・汚泥処理計画 (基本方針)**

1. 下水道の整備
2. 下水道未接続家庭からのし尿及び浄化槽汚泥の全量をし尿処理施設で処理